Printed in China　2014/03

MIRAREED

[取付説明書]

NAV600F

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 取り付けと配線を行う前に、この「取付説明書」をよくお読みのうえ安全に正しく作業してください。
- 本説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

お客様へ	本機の取り付けと配線には、専門技術と経験が必要です。 お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。
販売店様へ	取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

ご購入年月日	ご購入店名
年　月　日	TEL
（メモ）	

安全上のご注意

本取付説明書では、ご本人や周囲の人々が危害損害を追うことなく、本機を安全に正しく取り付け、配線をしていただくために、いろいろな注意事項を表示しています。本取付説明書をよくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって２つに区分けしています。

⚠ 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠ 注意	「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ 注意内容の性質を絵表示で示しています。

⚠	注意を促す内容です。
⃠	してはいけない内容です。
❗	必ずしていただきたい内容です。

取り付けの前に

⚠ 警告

⃠
- 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けない
  ※ ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル付近など
  交通事故やけがの原因となります。
- エアバック装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない
  エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。

⚠ 警告

❗
- DC12V ⊖ アース車で使用する
  DC24V 車（大型トラックや、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因となります。
- 配線作業前に、バッテリーの マイナス端子を外す
  外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。
- 本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する
  指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。
- ヒューズは規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
  規定容量以上のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

⚠ 注意

⃠
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこりの多いところへは取り付けない
  本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところや傾きのある不安定な場所には取り付けない
  本機が外れて、事故やケガの原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところ、本機の通風孔や放熱部をふさぐところには取り付けない
  本機に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取り付けのときに

⚠ 警告

⃠
- 分解や改造をしない
  分解、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源をとることは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
- 取り付けやアース配線に、車の保安部品を絶対に使わない
  （例）ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット
  制御不能や発火、交通事故の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対しない
  電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。
- エアバック装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する位置に配線しない
  エアバックが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などに干渉や接触をさせない
  パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。

❗
- コード類は、高温部を避けて引き回す
  コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。
- コード類は、運転操作の妨げとならないように引き回す
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となります。
- パーキングブレーキコードを正しく配線する
  安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

⃠
小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
（例）コードホルダー、ネジ、カードなど
誤って飲み込むおそれがあります。万一飲んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

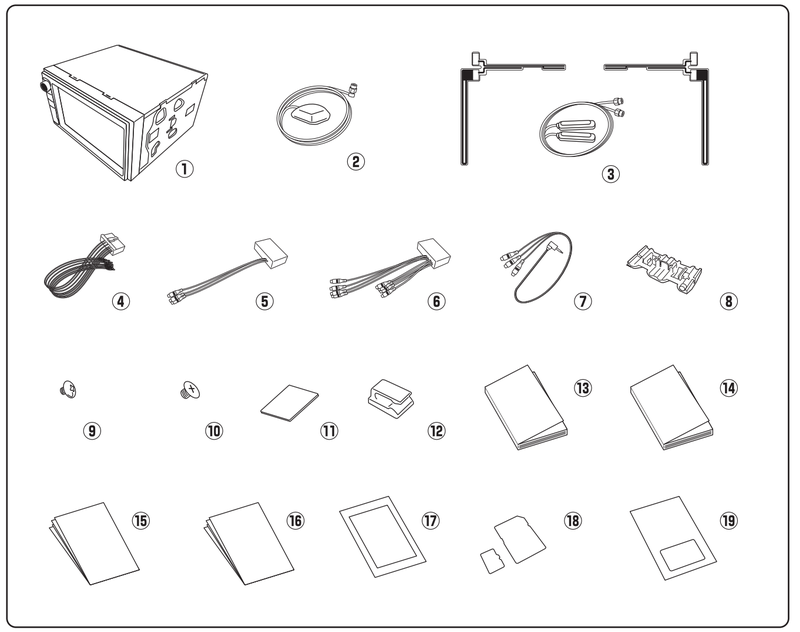
❗
- 必ず、付属の部品を指定通り使用する
  指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定されずに外れたりして、事故や故障の原因となることがあります。
- 車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する
  開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- 取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する
  火災や事故の原因となります。お買い求めの販売店に依頼してください。
- 落下させる、たたくなど強い衝撃を与えない
  故障や火災の原因となります。
- 取付説明書にしたがって、取り付けや配線をする
  誤った取り付けや配線をすると、事故や火災の原因となることがあります。
- コード類は結線終了後、クランプや絶縁テープで確実に固定する
  コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- コード類は、車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさみ込まないように引き回す
  断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- 取り付け、配線作業後は、車の電装品の動作確認をする
  （例）ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど
  正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

⚠
車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

製品構成

本機の構成部品は以下のとおりです。万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店に申しつけてください。

① 本機（本体）..... 1 台
② GPS アンテナ（3m）..... 1 個
③ TV アンテナ＆アンテナケーブル（5m）2 本
④ 電源コード（本体用）..... 1 本
⑤ AUX 入力ケーブル..... 1 本
⑥ ラインケーブル..... 1 本
⑦ 入力用ミニジャック（前面パネル接続） 1 本
⑧ エレクトロタップ ..... 2 個
⑨ 取付ネジ（トラス）..... 8 個
⑩ 取付ネジ（サラ）..... 8 個
⑪ GPS アンテナ固定用両面テープ ..... 1 枚
⑫ コードホルダー ..... 10 個
⑬ 取扱説明書（ナビゲーション編）..... 1 冊
⑭ 取扱説明書（マルチメディア編）..... 1 冊
⑮ 取付説明書（本書）..... 1 部
⑯ TV アンテナ取付説明書 ..... 1 部
⑰ mini B-CAS カード ..... 1 組
⑱ SD カード（地図データ）..... 1 枚
⑲ 地図更新カード..... 1 組



TV アンテナの取付と構成部品について

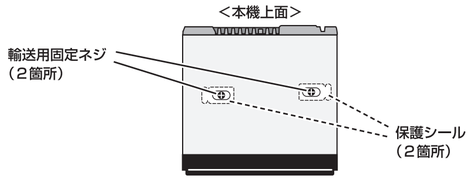
③テレビアンテナの取り付けおよび構成部品については、同梱の TV アンテナ取付説明書をご覧ください。

取り付け方

取付上のご注意

「輸送用固定ネジ」の取り外し

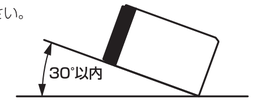
1．本機を取り付ける前に、本機上部の「輸送用固定ネジ」を取り外してください。



2．「輸送用固定ネジ」を取り外したあと、ネジの横に貼付の「保護シール」裏面の“はくり紙”をはがし、シール全面を本機に貼り付けてください。

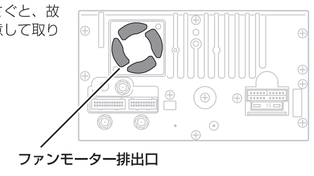
本機の取付角度

本機は水平面から 30° 以内に取り付けてください。



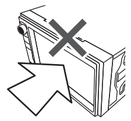
本機の背面について

本機には、本体内部の温度を上げないため、ファンモーターが付いています。ファンモーターの排出口をコードや取付ブラケット等でふさぐと、故障の原因となりますので、配線等に注意して取り付けてください。



本機パネル面

本機を取り付ける際、パネル面を強く押し付けないでください。強く押し付けると故障の原因となります。

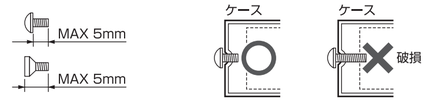


取付金具

車両への取り付けは、一部の車両を除き、車両の取付金具を使用して取り付けることができます。
また、車種や年式により、専用の取付キットを使用しないと取り付けられない場合がありますので、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

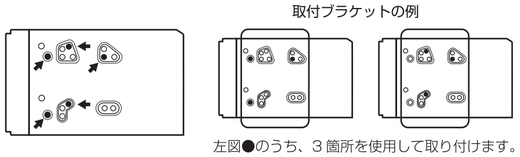
取付ブラケットのネジ形状に合わせて、必ず付属のネジをご使用ください。
指定以外のネジを使用すると、事故や故障の原因となります。



取付穴について

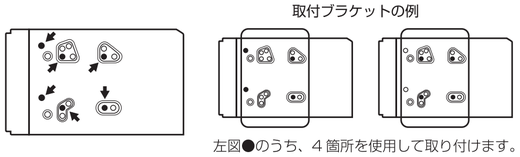
本機には、各自動車メーカー対応の取付穴が設けられています。例として下図をご参照ください。
●しるしのいずれかを使用して取り付けます。

日産車の場合



左図●のうち、３箇所を使用して取り付けます。

トヨタ / ダイハツ・スズキ・スバル車の場合



左図●のうち、４箇所を使用して取り付けます。

GPS アンテナの取り付け

ご注意

1．GPS アンテナは、車載用機器（※1）、アンテナ類（※2）から 50cm 以上離して取り付けてください。
車載用機器やアンテナ類の近くに取り付けると、お互いに悪影響を与えあったり、電波が受信しにくくなったりする可能性がありますので必ずお守りください。
※1　ナビゲーション本体、ETC 車載器、ビーコンユニット、CD プレーヤーなどのカーオーディオ機器、レーダー探知機など
※2　TV アンテナ、ETC アンテナなど
2．付属の GPS アンテナは、車内専用です。車外への取り付けはできません。
3．GPS アンテナは電波を受信しやすくするために、平らな面に水平に取り付けてください。
4．GPS アンテナのカバーにワックスをかけたり塗装をしないでください。アンテナの受信性能が落ちます。

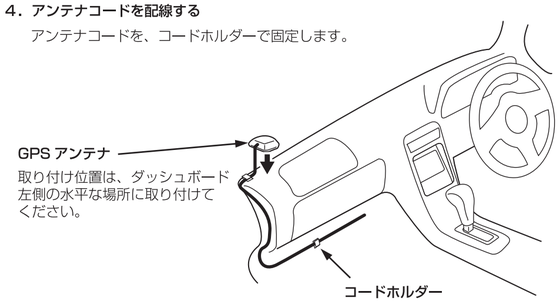
ダッシュボードに取り付ける場合

1．取付面の汚れをきれいにふき取る
取付面が油分等で汚れていると貼り付かなくなりますので、きれいにふき取ってください。

2．GPS アンテナに両面テープを貼り付ける
GPS アンテナの裏に、両面テープを貼り付けます。

3．アンテナを取り付ける
GPS アンテナをダッシュボードの電波のさえぎられにくい平らな場所に貼り付けます。

4．アンテナコードを配線する
アンテナコードを、コードホルダーで固定します。



⚠ 警 告

エアバックシステムの作動に影響する位置、視界をさえぎる位置には取り付けないでください。
事故の原因となります。

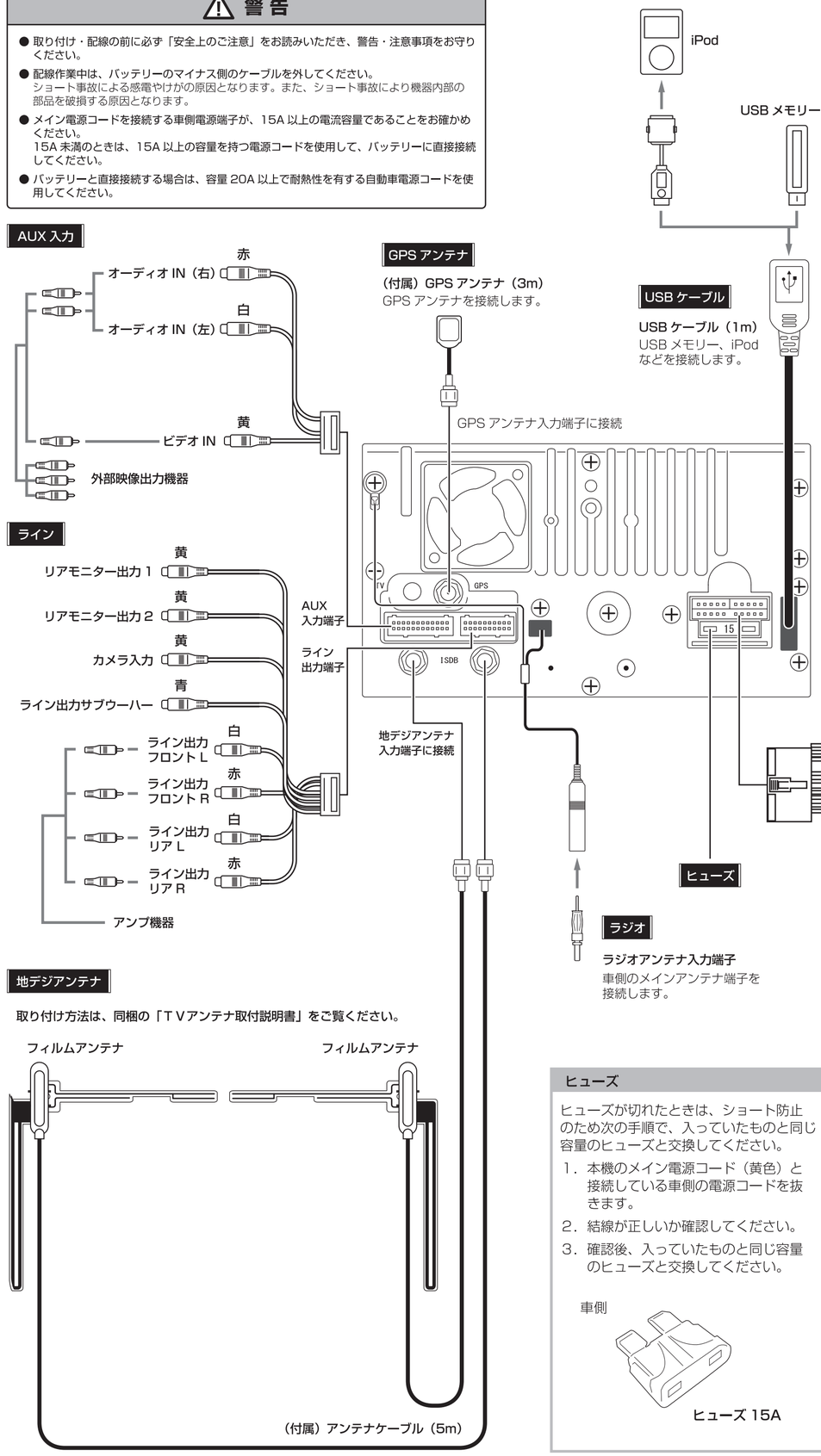
GPS を取り付けたあとに

自車位置を調整する
はじめてナビゲーションをお使いになる場合は、自車位置マークを実際のお車の位置に合わせるために以下を行ってください。
上空に障害物がない道、または周辺に高いビルがない（GPS が受信できる）道で、約 5 分間、法定内のスピードで低速走行を行う。

配線のしかた

⚠ 警 告

- 取り付け・配線の前に必ず「安全上のご注意」をお読みいただき、警告・注意事項をお守りください。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。
ショート事故による感電やけがの原因となります。また、ショート事故により機器内部の部品を破損する原因となります。
- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A 以上の電流容量であることをお確かめください。
15A 未満のときは、15A 以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。
- バッテリーと直接接続する場合は、容量 20A 以上で耐熱性を有する自動車電源コードを使用してください。

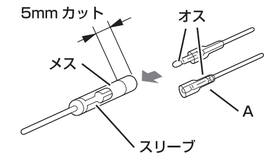


電源およびスピーカー端子

端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。
オス端子が右図 A タイプの場合は、メス端子のスリーブを約 5mm カットしてください。

⚠ 注 意

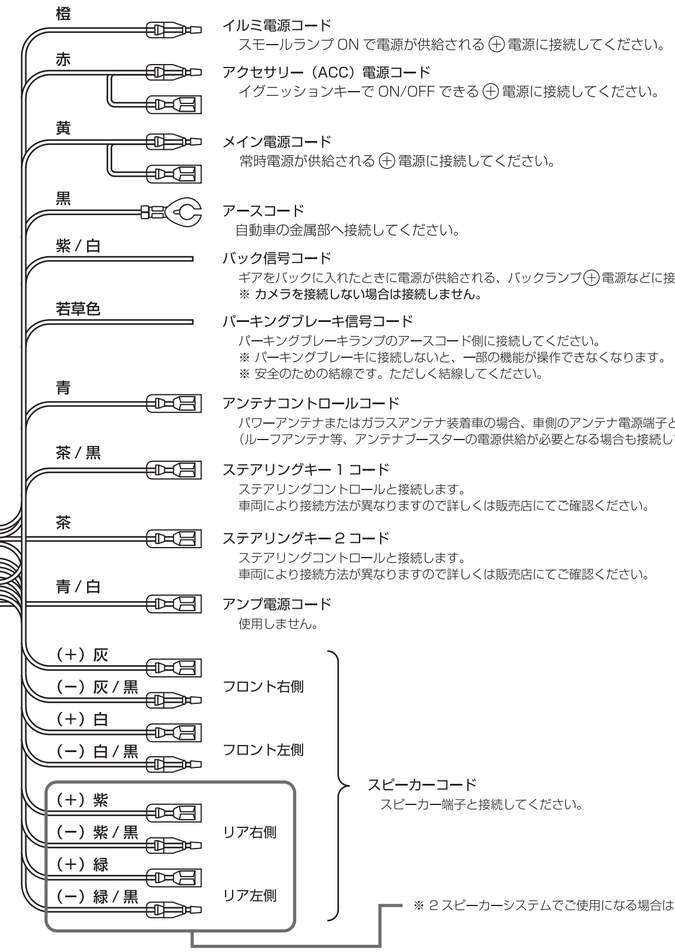
- アンテナ電源コードは専用端子ですので、他の機器や手動または半手動のアンテナ装着車には接続しないでください。
- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。



（付属）電源コード
コードを接続してください。接続には、車種に適合した市販の中継コードキットのご使用をおすすめします。
また、適合車種については販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

ショート事故防止のため、電源コネクターを接続する前に、結線内容を再度確認してください。



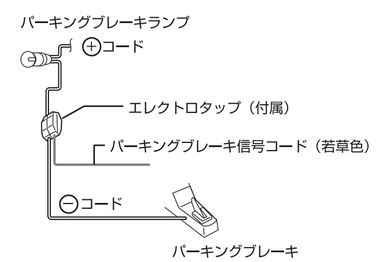
ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

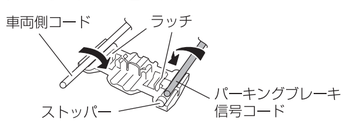
1．本機のメイン電源コード（黄色）と接続している車側の電源コードを抜きます。
2．結線が正しいか確認してください。
3．確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

パーキングブレーキ接続コード

付属のエレクトロタップを使って、各信号機と接続してください。



① パーキングブレーキ信号コードをストッパーに当て、矢印のほうへたたみ返します。



② 車両側コードを通し、矢印のほうへたたみ返します。